

No.	24-1078	
Project Title	オス体内における精子の加齢メカニズム	
Principal Investigator	Kenshiro Hara (Tohoku University・Associate professor)	
Project Member(s)	IMSUT Host Researcher	Manabu Ozawa (The Institute of Medical Science, The University of Tokyo・Associate professor)
	Project Member (s)	三宅佐和 (東北大学・大学院生)

東京大学医科学研究所国際共同利用・共同研究拠点事業
共同研究報告書（年次終了・研究完了）【国内】

共同研究報告（年次終了）

2025年度は、前年度に確立した実験系を用いて、精子の移動および滞在時間の測定を実施した。その結果、個々の精子において移動時間にばらつきが生じることを示唆するデータが得られた。さらに、精子の加齢と受精能・発生能との関連を解析するための準備として、小沢博士より体外受精技術の指導を受け、当該技術を導入した。以上の成果により、本年度は概ね計画通りの研究進捗を達成した。なお、本期間中に1回、医科研を訪問し、小沢博士と技術的打合せおよび情報交換を行った。また、精子形成に関連する研究成果を1報公表した（Kawabe et al., Biol. Reprod. 2026）。